

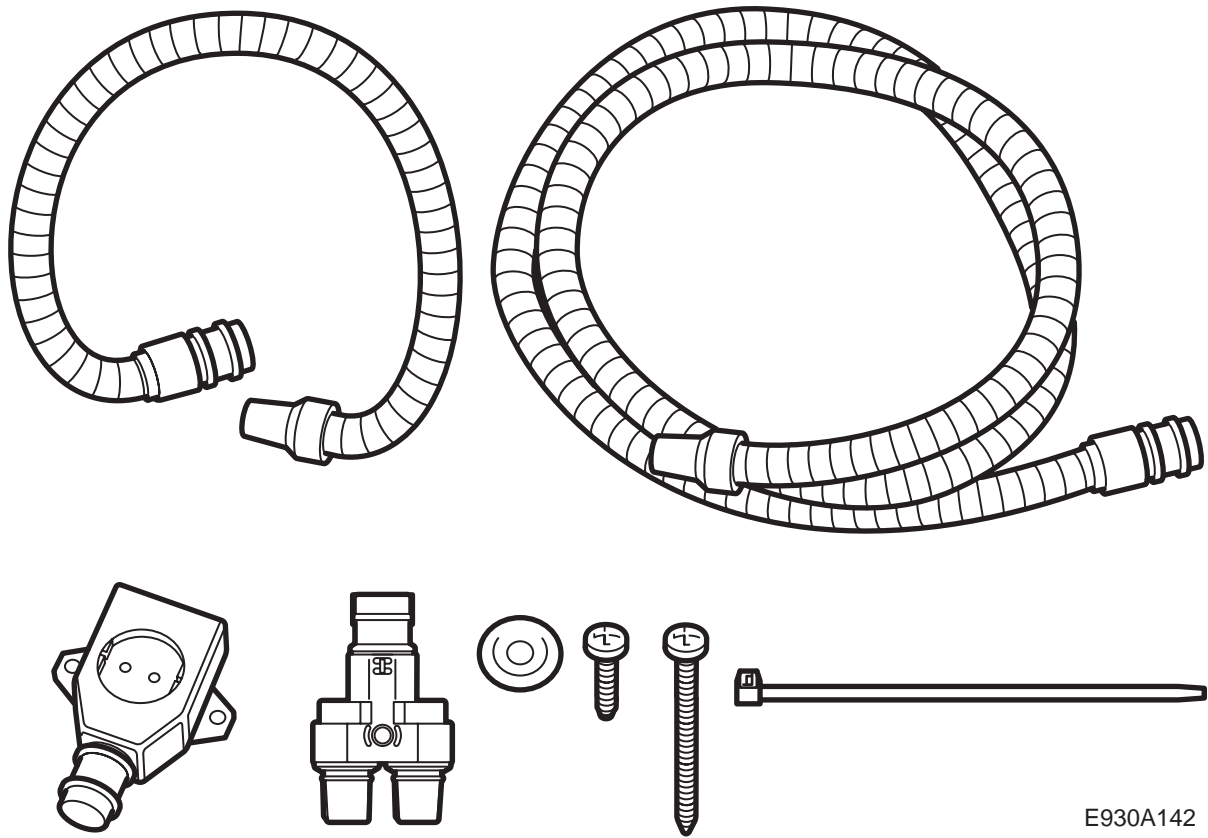


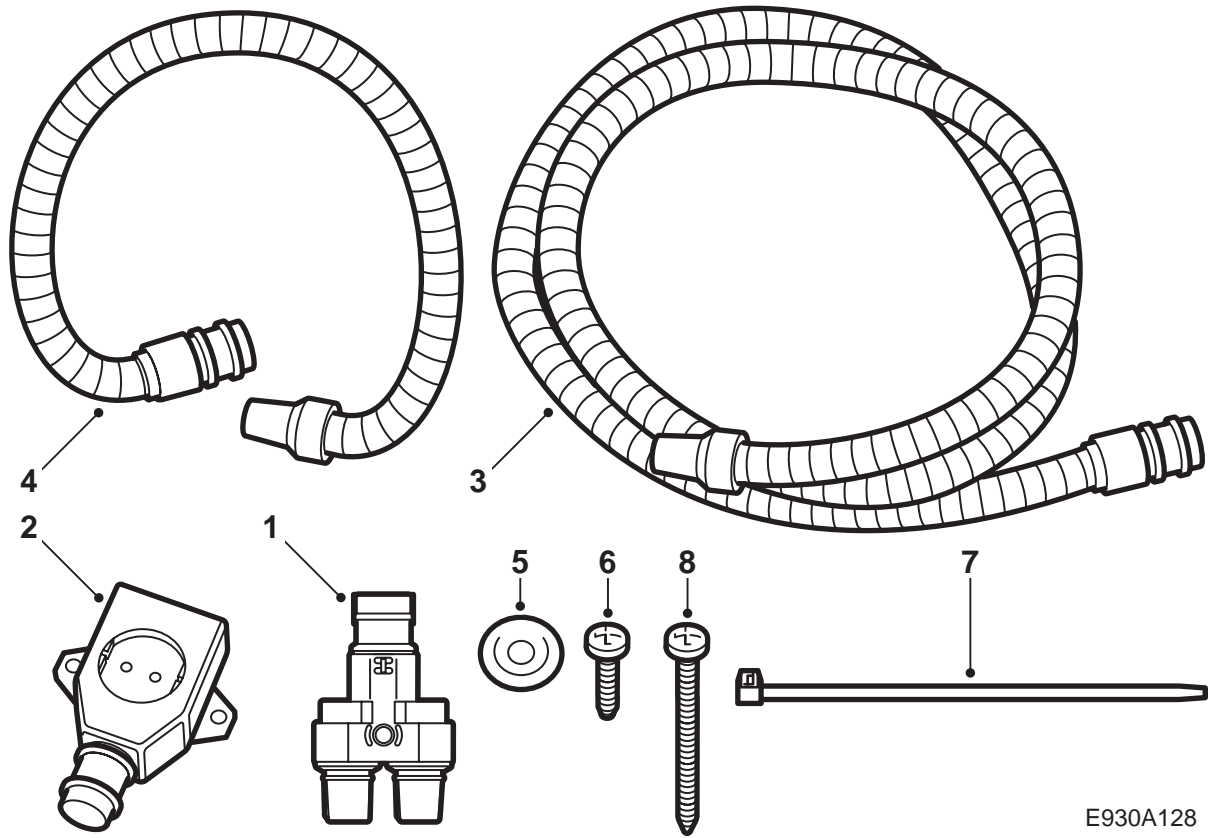
**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

Saab 900 M94-98, Saab 9-3, Saab 9000, Saab 9-5

分岐配線キット LHD

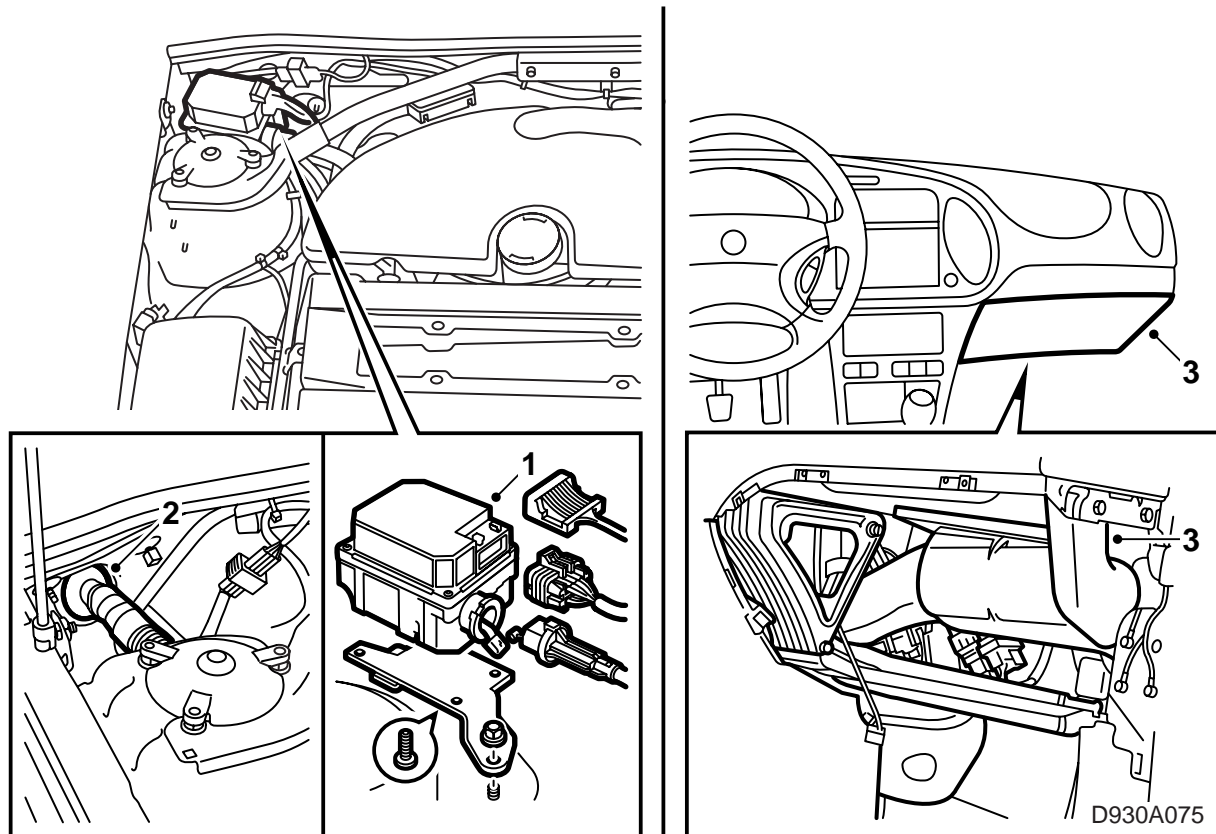
Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 127 866	9:87-24	May 00	86 95 926	86 95 926 Feb 00





E930A128

- 1 分岐コネクタ
- 2 220V コンセント
- 3 接続ケーブル
- 4 接続ケーブル
- 5 電線用グロメット
- 6 ネジ (x2)
- 7 結束バンド (x10)
- 8 ネジ

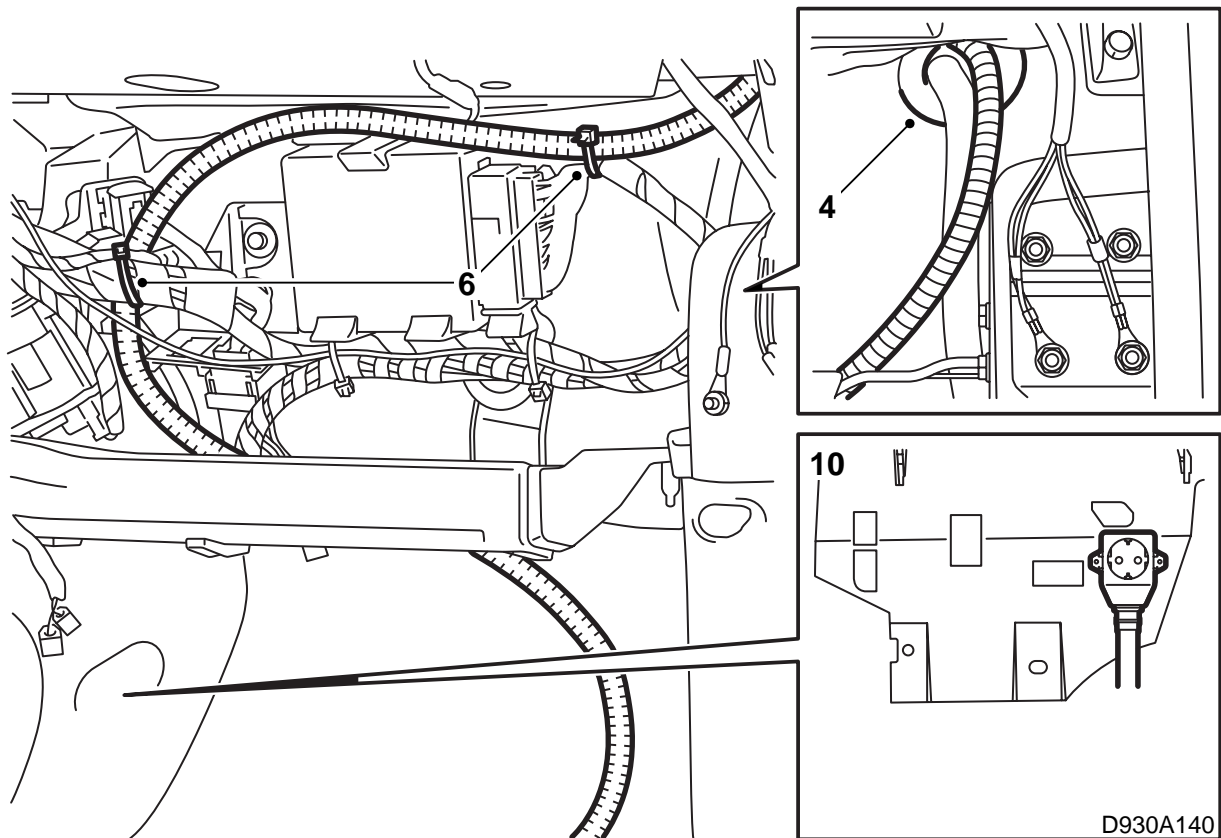


Saab 900 M94-M98、Saab 9-3

⚠ 警告

接続を行う前に各接続ケーブルのOリングを潤滑しておくことと、全ての接続をしっかりとめ合わせる事が重要である。

- 1 クルーズコントロール搭載 (B204/B234)：コネクターと各ナットを外すことにより、クルーズコントロールの制御モジュールを取り外す。制御モジュールを持ち上げて取り除く。
- 2 パルクヘッドのグロメットのそばのテープおよびファスナーを取り除く。
- 3 グローブボックスおよびダッシュボードの右サイド吹出口用エアダクトを取り除き、インシュレータマットを邪魔にならないように除けておく。

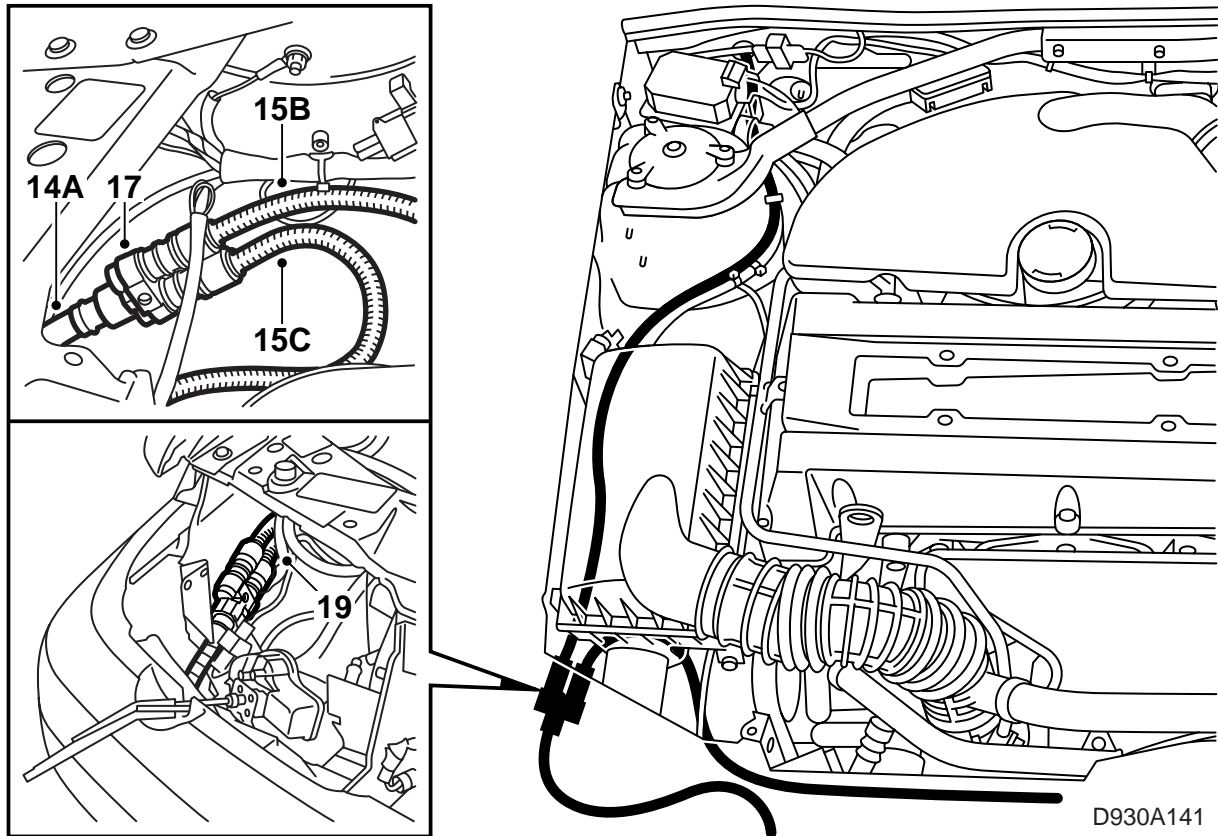


- 4 バルクヘッドグロメットに 2.0 m の接続ケーブルを通す。
タイマーケーブルがあるならば、同時に通しておく必要がある。

注記

作業を容易にするために石鹼水を使用する。

- 5 車室コンセントに 2.0 m の接続ケーブルを接続し、右 A ピラー近くにコンセントを置く。
- 6 バルクヘッドの内側へ接続ケーブルを置き、図を参照して鋭いエッジなどの近くにこないようにして車のワイヤーハーネスにケーブルを固定し、グローブボックスの前でケーブルを固定する。
- 7 Teroson T242 (パーツ番号 30 15 781) または同等のシーラントを使用して、配線を伝わって車室内に水が侵入してこないようにグロメットを密閉する。
- 8 グロメットの周囲に結束バンドを締結し、テープで封印する。
- 9 エアダクトおよびグローブボックスを元に戻す。必要であれば、接続コネクタの電線とのなじみを良くするためにグローブボックスを計測し、トリミングする。
- 10 A ピラー近くのダッシュボードアンダーパーツに車室コンセントを配置する。図を参照のこと。ケガキ針を使い穴の位置をマーキングする。コンセントをしっかりネジ留めする。
- 11 クルーズコントロール搭載 (B204/B234) : クルーズコントロールの制御モジュールを取り付ける。



12 グリル、右フラッシャーおよびヘッドライトを取り外す。

13 エアクリーナーを取り外し、脇に除けておく。

14 インテークケーブルの O リングを潤滑し、分岐コネクタ (A) にケーブルを接続する。

車に前からエンジブロックヒーターが取り付けられているのであれば： エンジンヒーターからケーブルを外す。インテークケーブルを引き戻し、ラジエーターとバンパーメンバーの間を引き上げ、右ヘッドライトの下にケーブルを配置し、分岐コネクタまで敷設する。インテークケーブルの O リングを潤滑し、分岐コネクタ (A) にケーブルを接続する。

15 分岐コネクタ (B) に 2.0 m の接続ケーブルを、また分岐コネクタ (C) に 1.5 m の接続ケーブルを接続する。

16 分岐コネクタ C からの 1.5 m 接続ケーブルをエンジブロックヒーターに接続し、ロック用 U クランプを取り付け、ヒートインシュレーターを元のように取り付ける。

17 右フラッシャー下方フェンダーライナー上の適正位置に分岐コネクタを配置する。穴の位置をマーキングし、3.5 mm のドリルで穴をあける。

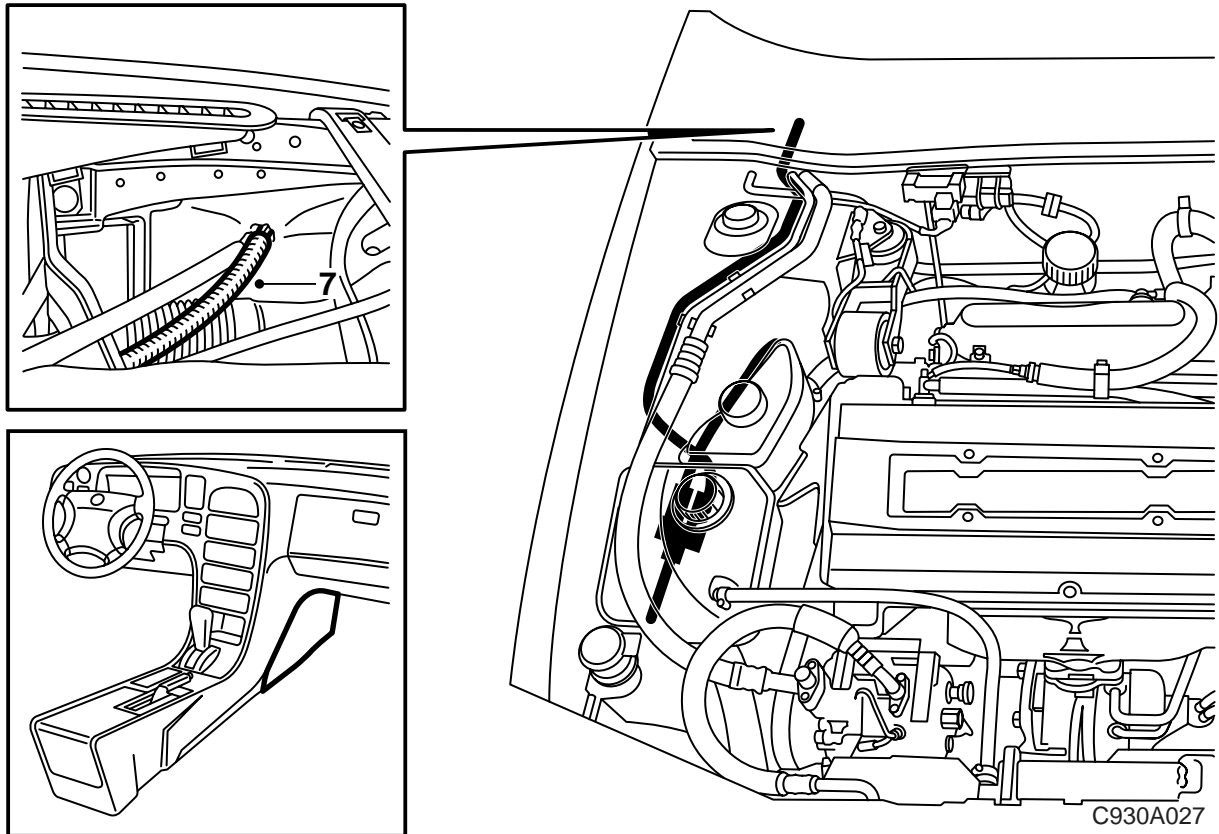
18 穴のバリ取りを行い、散らばった切りや塗装片を除去する。Teroson クリーナー-FL を使い清掃する。Standex 1 K Fullprimer を塗布する。カバーペイントを施す。内側となる面には、Terotex HV 400 または Mercasol 1 を使用する。

19 分岐コネクタを取り付ける。端子を取り付けた後で接地ポイントにパーツ番号 30 15 971 の浸透性防錆剤をスプレーする。

20 熱せられた部品や鋭い部品とエンジンルーム内部の電線が接触していないことを確かめる。必要に応じて電線の固定を行う。

21 装備を 220V に接続し、電圧計で 220V ソケットを点検する。

22 右ヘッドライト、フラッシャー、エアクリーナーおよびグリルを元のように取り付ける。



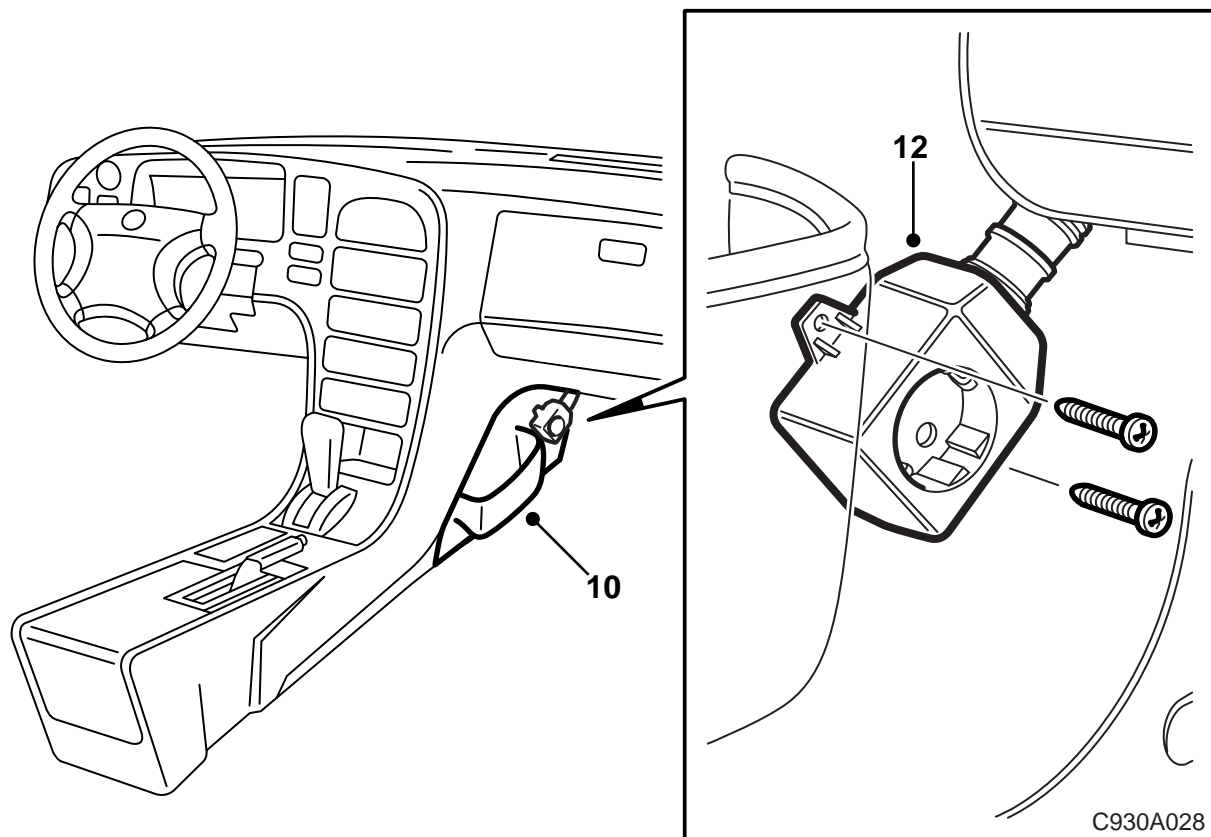
Saab 9000

⚠ 警告

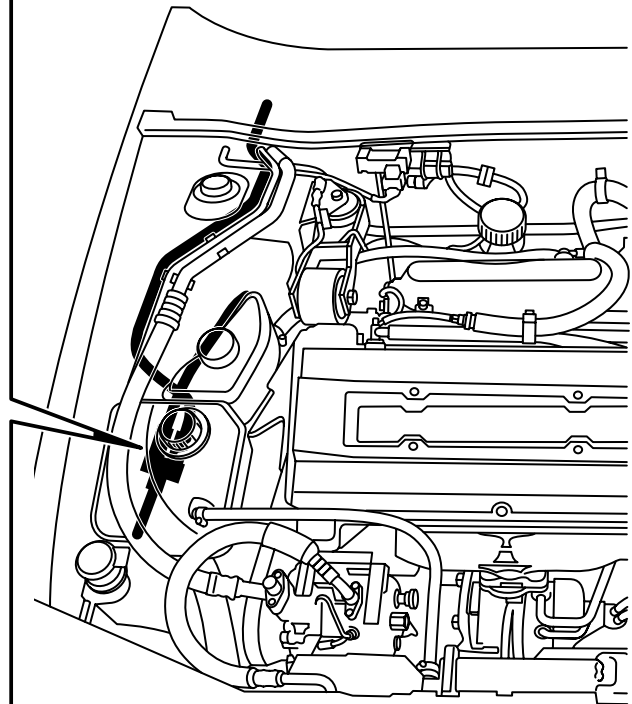
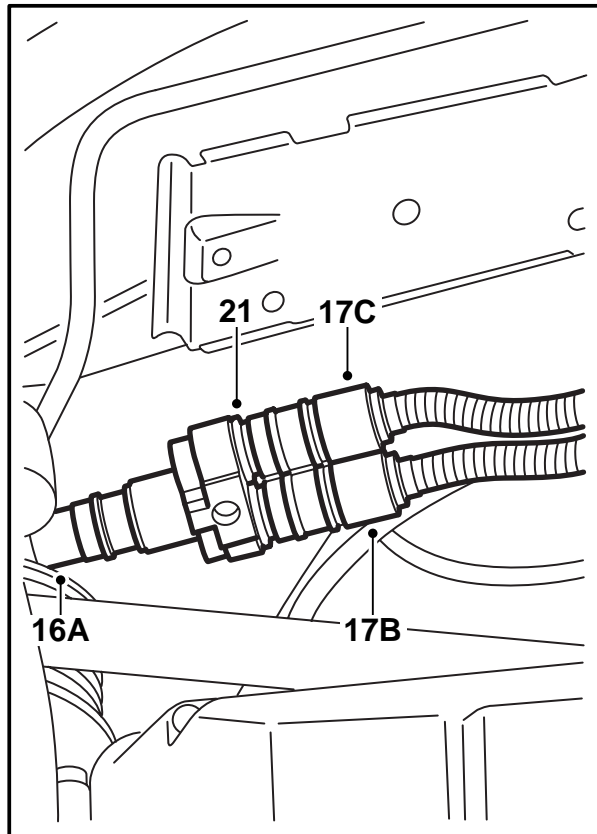
接続を行う前に各接続ケーブルの O リングを潤滑しておくことと、全ての接続をしっかりとめ合わせる事が重要である。

- 1 バルクヘッドパーティションスペースを覆うカバーを取り外す。
- 2 助手席側ダッシュボード下のサウンドアレスタを取り除く。
- 3 フロアマットを邪魔にならないように除けておき、インシュレータマットを保持しているクリップを除去して慎重に下に曲げる。
- 4 両方の A ピラートリム、両方のスピーカーグリル、グローブボックスドアを開くとアクセスできるネジ、ないし助手席側にエアバッグを装備している車では SRS エンブレム背後にあるネジを取り外し (マグネットドライバーを使用)、ダッシュボードのアップパーパーツを持ち上げる。
- 5 エンジンルームのバルクヘッドパーティションスペースから、エバポレーターハウジング (A/C または ACC 搭載車) または車室用エアフィルター (A/C 非搭載車) との間の範囲のところでカウルパネルに 22 mm の穴を 1 箇所あける。ホールソーを使用する。
- 6 穴のバリ取りを行い、散らばった切子や塗装片を除去する。Teroson クリーナーFL を使い清掃する。Standex 1 K Fullprimer を塗布する。カバーペイントを施す。内側となる面には Terotex HV 400 または Mercasol 1 を使用する。

- 7 バルクヘッドグロメットに 2.0 m の接続ケーブルを通し、車室コンセント取付箇所まで敷設する。タイマーケーブルがあるならば、同時に通しておく必要がある。
- 8 キットのグロメットを内側から取り付け、Teroson T242 (パーツ番号 30 15 781) または同等のシーラントを使用して、配線を伝わって車室内に水が侵入してこないようにグロメットを密閉する。

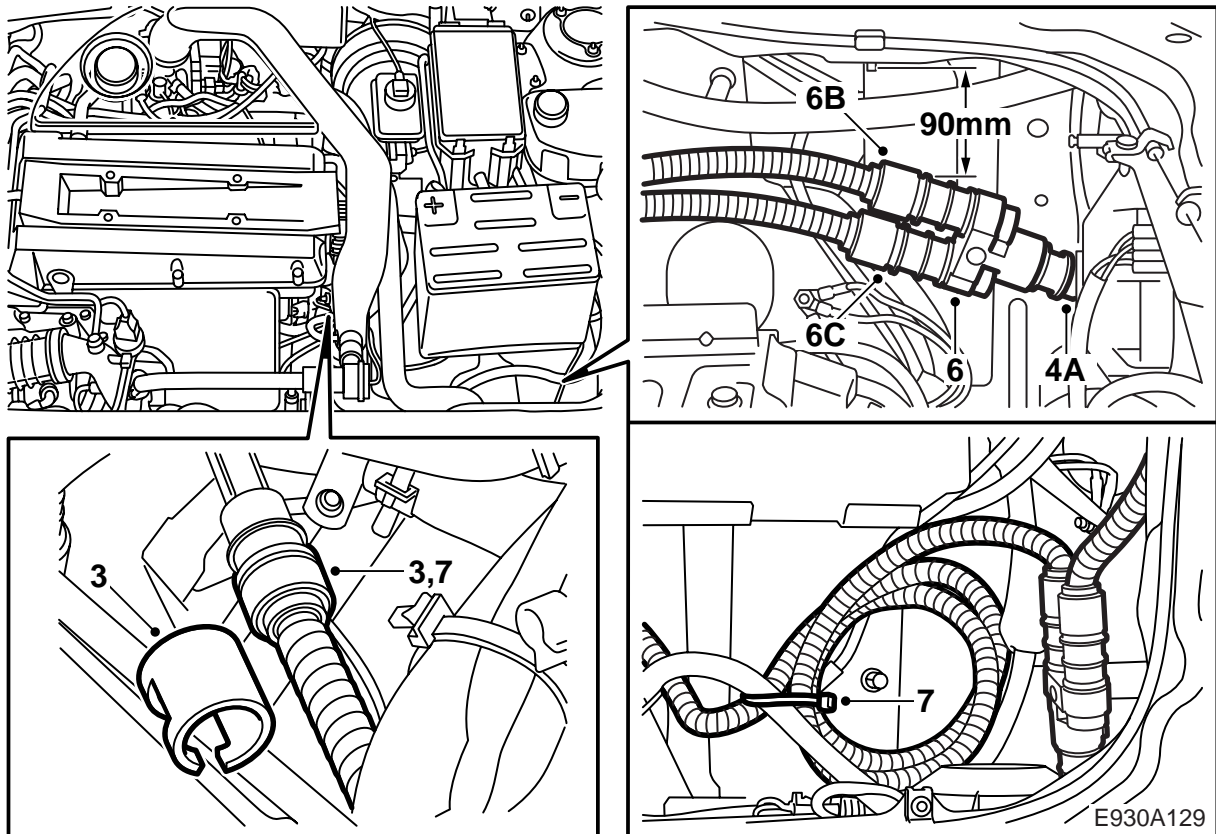


- 9 センターコンソールボックスのサイドシールドのフロント取付部に車室コンセントを配置し、コンセントをテンプレートとして穴の位置をマーキングし 3 mm のドリルで穴をあける。
- 10 サイドシールドを取り外し、接続ケーブルを中に通す。
- 11 センターコンソールボックスのサイドシールドを取り付ける。
- 12 車室コンセントに 2.0 m の接続ケーブルを接続し、コンセントをしっかりネジ留めする。
- 13 マットを曲げ戻し、クリップを元に戻す。
- 14 ダッシュボードの下に右サウンドアレスタを戻す。



C930A029

- 15 脱着式カウルパネルのところのシールを通して接続ケーブルを前方へ敷設し、右ストラクチャーメンバーに沿って右ホイールハウジング上方にあるエキスパンションタンクの前まで敷設する。
A/C パイプがあるのなら、それに沿わせる。
- 16 インテークケーブルの O リングを潤滑し、分岐コネクタ (A) にインテークケーブルを接続する。車に以前からエンジンブロックヒーターが取り付けられていた場合には、まずエンジンブロックヒーターからケーブルを外す。
- 17 分岐コネクタ (B) に車室コンセントからの 2.0 m の接続ケーブルを、分岐コネクタ (C) に 1.0 m の接続ケーブルを接続する。
- 18 エンジンヒーターに分岐コネクタ (C) からの 1.5 m 接続ケーブルを接続し、エンジンヒーターとの接続部分にロック用 U クランプを被せて取り付け。ロック用 U クランプが正しく取り付けられると、カチッという音が聞こえる。
- 19 ホイールハウジング上に分岐コネクタを配置し、コネクタをテンプレートとして穴の位置をマーキングし、3.5 mm のドリルで穴をあける。
- 20 穴のバリ取りを行い、散らばった切子や塗装片を除去する。Teroson クリーナー-FL を使い清掃する。Standex 1 K Fullprimer を塗布する。カバーペイントを施す。内側となる面には Terotex HV 400 または Mercasol 1 を使用する。
- 21 分岐コネクタを取り付ける。
- 22 熱せられた部品や鋭い部品とエンジンルーム内部の電線が接触していないことを確かめる。必要に応じて電線の固定を行う。
- 23 装備を 220V に接続し、電圧計で 220V ソケットを点検する。
- 24 バルクヘッドパーティションスペースを覆うカバーを取り付ける。
- 25 ダッシュボードのアップパーパーツ、各スピーカーグリル、各 A ピラートリムを取り付ける。グローブボックスドアを開くとアクセスできるネジ、ないし助手席側にエアバッグを装備している車では SRS エンブレム背後にあるネジを忘れぬこと。



Saab 9-5

⚠ 警告

接続を行う前に各接続ケーブルのOリングを潤滑しておくことと、全ての接続をしっかりとめ合わせる事が重要である。

- 1 車にSaabオリジナルラジオ以外のものが装備されている場合は、作業を開始する前に顧客がラジオコードを持っていることを確認すること。
バッテリーの接続を外して、持ち上げて抜き取る。
- 2 左フラッシャーを取り外す。
- 3 車に以前からエンジンブロックヒーターが取り付けられていた場合には、まずエンジンブロックヒーターからケーブルを外す。
- 4 分岐コネクタ (A) にインタークソケットを接続する。コネクタをテンプレートとして穴の位置をマーキングする。図を参照のこと。3.5 mm のドリルで穴をあける。

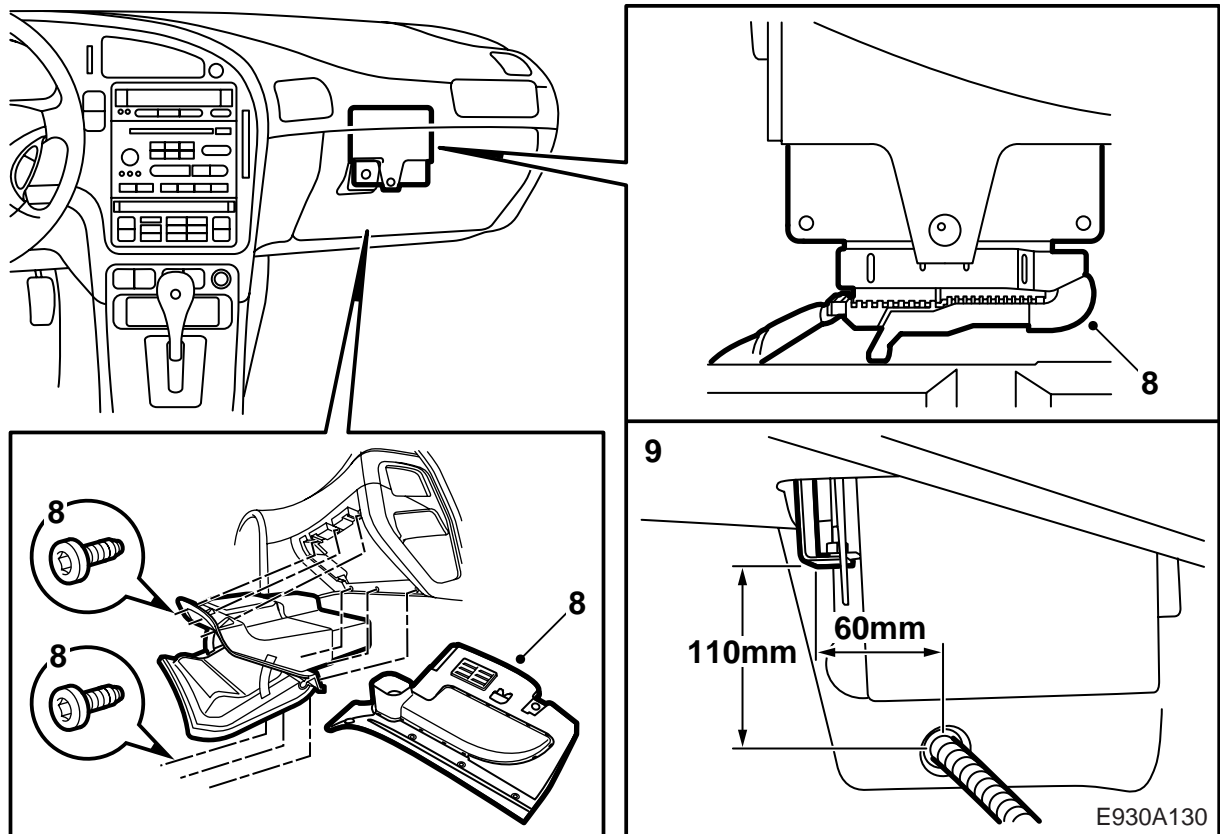
重要事項

ウォッシャータンクに穴をあけてしまわないようにドリルストッパーを使用する。

- 5 穴のバリ取りを行い、散らばった切子や塗装片を除去する。Teroson クリーナーFL を使い清掃する。Standex 1 K Fullprimer を塗布する。カバーペイントを施す。内側となる面には Terotex HV 400 または Mercasol 1 を使用する。

6 分岐コネクタ (B) に 2.0 m の接続ケーブルを、また分岐コネクタ (C) に 1.5 m の接続ケーブルを接続する。分岐コネクタをしっかりとネジ留めする。

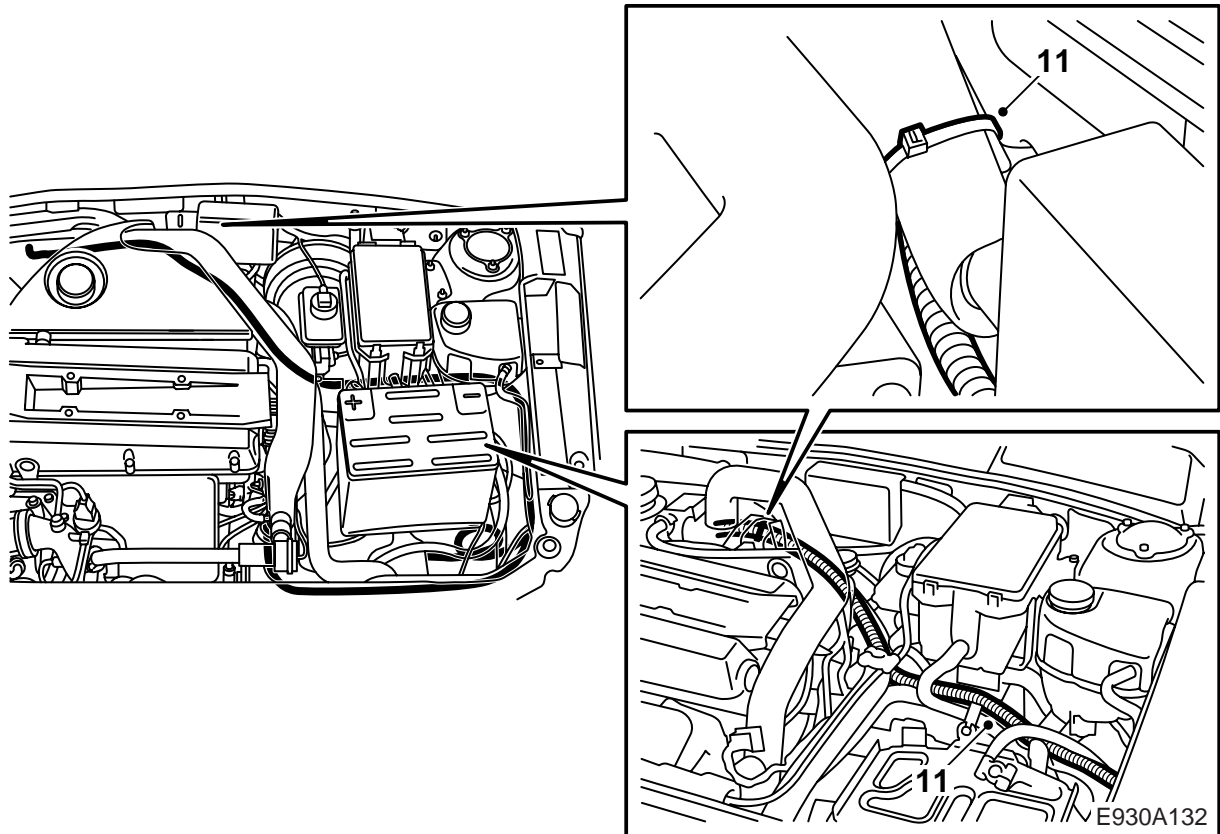
7 エンジンブロックヒーターに分岐コネクタ (C) からの 1.5 m の接続ケーブルを接続し、ロック用 U クランプを取り付ける。ヒートインシュレーターからの電線の余剰分はループにして纏め、バッテリートレイの脇に固定する。



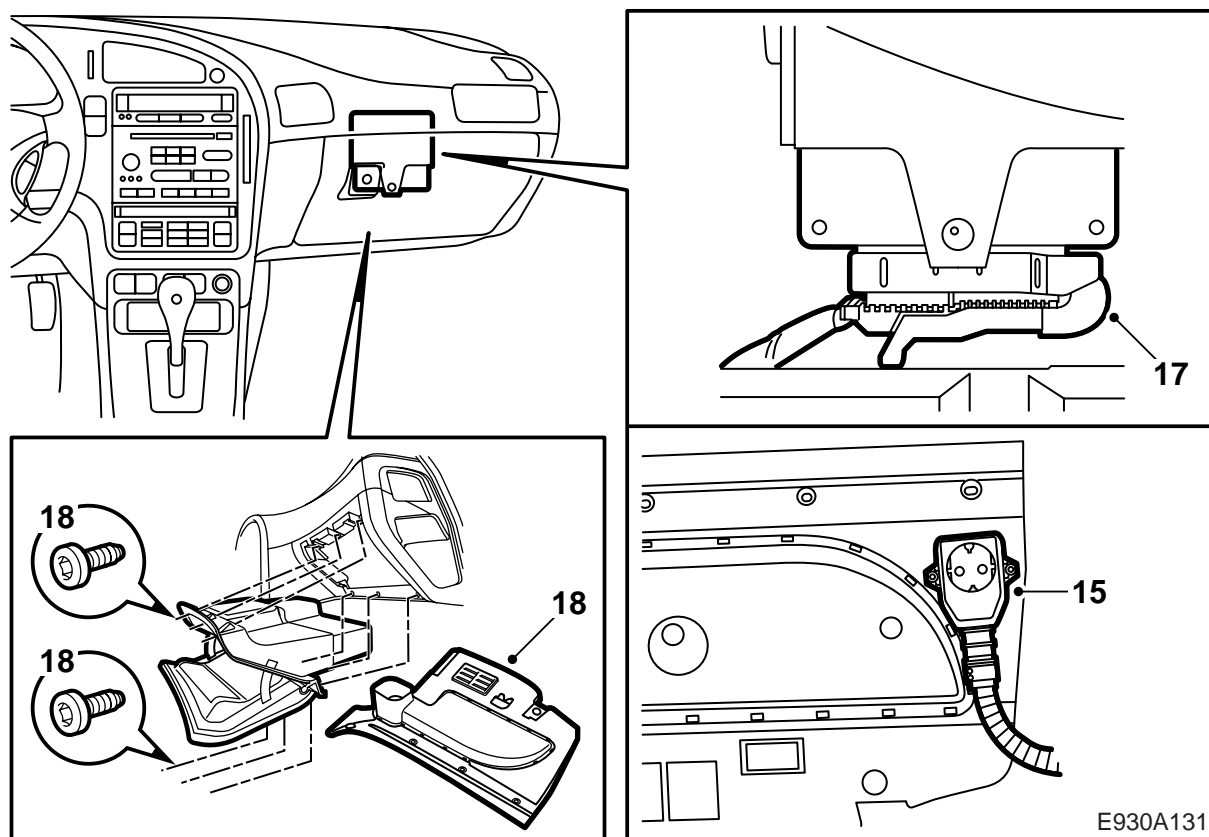
- 8 グローブボックスを取り外し、マットの上端を邪魔にならないようによけておく。冷却式のグローブボックスでは、冷却ホースを取り外す。

オートマチックトランスミッション搭載車の場合：
制御モジュールから端子を取り外し、ケーブルを邪魔にならないように除けておく。

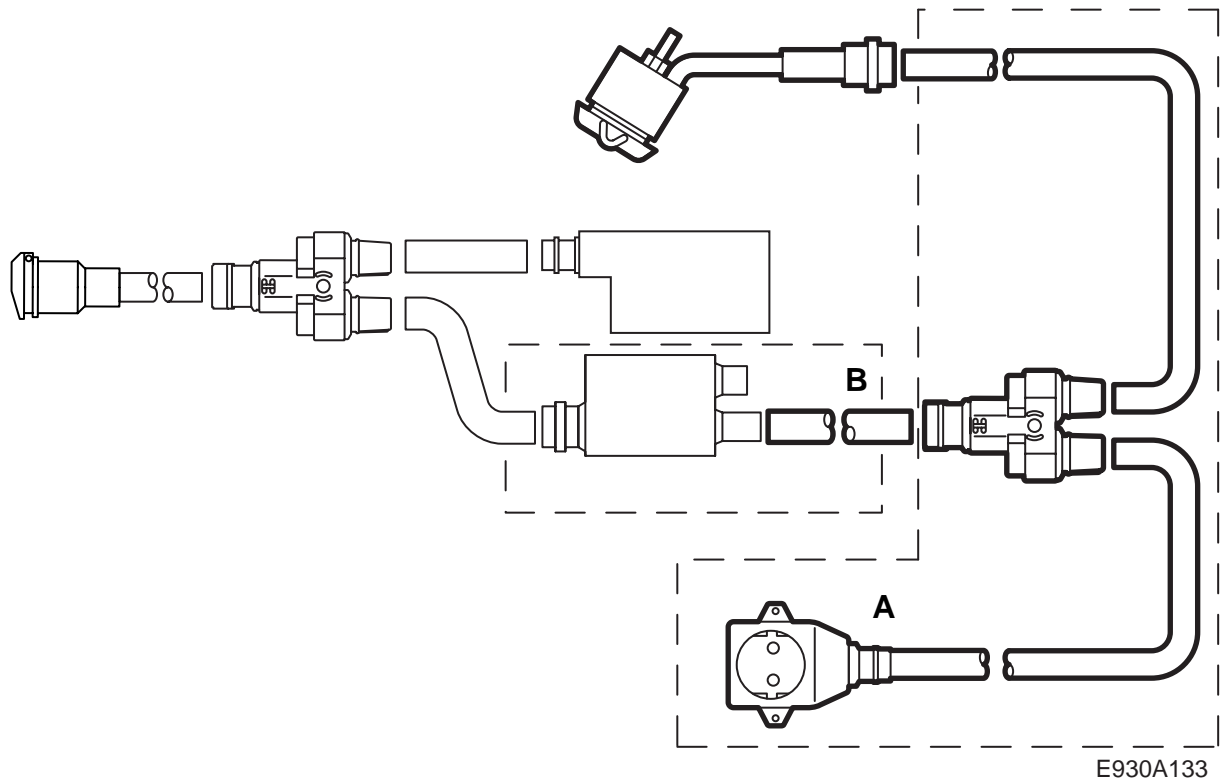
- 9 図を参照して位置を測定し、ホールソーで 22 mm の穴をあける。バルクヘッドの外側のインシュレーターを少々切り取る。
- 10 穴のバリ取りを行い、散らばった切子や塗装片を除去する。Teroson クリーナーFL を使い清掃する。Standex 1 K Fullprimer を塗布する。カバーペイントを施す。内側となる面には Terotex HV 400 または Mercasol 1 を使用する。



- 11 各ヒーターホース沿いにバルクヘッドまで 2.0 m 接続ケーブルを敷設する。接続ケーブルは、バルクヘッドのところでワイヤーハーネスに沿って右に敷設する必要がある。
- 12 接続ケーブルにキットのグロメットを装着する。



- 13 バルクヘッドグローメットに 2.0 m の接続ケーブルを通し、車室コンセント取付箇所まで敷設する。結束バンドを使い、ケーブルを固定する。
タイマーケーブルがあるならば、同時に通しておく必要がある。
- 14 キットグローメットを外側からバルクヘッドに取り付け、Teroson T242 (パーツ番号 30 15 781) または同等のシーラントを使用してグローメットを密閉する。
- 15 A ピラー近くにあるニープロテクションパネルに 220V コンセントを配置する。ケガキ針を使い穴の位置をマーキングする。
- 16 220V コンセントに 2.0 m の接続ケーブルを接続し、コンセントをしっかりネジ留めする。
- 17 **オートマチックトランスミッション搭載車**：制御モジュール用端子を元のように取り付ける。
- 18 冷却式グローブボックスの場合は、冷却ホースを元のように取り付ける。グローブボックスを元のように取り付ける。
- 19 左フラッシャーを元のように取り付ける。
- 20 熱せられた部品や鋭い部品とエンジンルーム内部の電線が接触していないことを確かめる。結束バンドを使い、動かないパーツに各ケーブルを固定する。
- 21 装備を 220V に接続し、電圧計で 220V ソケットを点検する。
- 22 バッテリーを元に戻して接続する。車の時計の時刻合わせを行い、日付もセットして、Saab オリジナルラジオでない場合はラジオコードをプログラミングする。



- A 分岐配線キット
- B タイマーキット